

企画展「生薬～自然からの恵み～」  
トークショー「現代の薬屋のおしごと」プログラム

千葉県立中央博物館

1 日 時

令和8年5月10日(日) 13:00～15:30

2 場 所

千葉県立中央博物館 講堂 (オンライン配信)

3 内 容

企画展「生薬～自然からの恵み～」にあわせて、生薬を含む医薬品関連業務に従事されている方をお招きし、その具体的な仕事内容や役割について広くご紹介します。本企画は、一般の方々に生薬に関わる職業への理解を深めていただくと共に、児童や生徒、学生のみなさまへの進路選択の助けになればと思います。

4 主 催

千葉県立中央博物館

5 対 象

小学生以上

6 定 員

会場参加 150名 (当日受付)  
オンライン参加 500名 (事前申込不要)  
下記 URL、右記 QR コードより、アクセス  
<https://youtube.com/live/vIc45md57AQ>



7 日 程

13:00～13:10	開会・趣旨説明 (10分)
13:10～13:40	<b>講演1</b> (30分) <u>「薬局で、お薬を出すおしごと」</u> ヤックスドラッグ磯辺海浜薬局 薬局長 高橋孝輔氏
13:40～14:10	<b>講演2</b> (30分) <u>「役所で、お薬を管理するおしごと」</u> 千葉県健康福祉部 次長兼健康危機対策監 出浦和彦氏
14:10～14:40	<b>講演3</b> (30分) <u>「植物から学ぶ生き方とお仕事」</u> 株式会社常磐植物化学研究所 代表取締役社長 立崎 仁 氏
14:40～14:50	休 憩 (10分)
14:50～15:20	質問・交流 (30分)
15:20～15:30	閉会 (10分)

## 薬局で、お薬を出すおしごと

○高橋 孝輔

ヤックスドラッグ磯辺海浜薬局

私は現在、千葉市立海浜病院の近くにある調剤薬局で、薬局長として薬剤師の仕事をしています。主な仕事は、病院で出された処方箋の内容にミスがないか、用法や用量が適切かをしっかり確認し、そのうえでお薬を準備することです。患者様に安全にお薬を使っていただくための、最終チェックの役割を担っています。また、薬局長としてスタッフの教育や指導を行い、職場全体のモチベーションを高めることで、ミスの防止や患者様へのより良い対応につなげることも大切な仕事です。さらに、休日や夜間など医療資源が不足する時間帯には、薬剤師会からの依頼を受けて休日診療、夜間診療に参加し、地域医療を支える役割も担っています。

私がこの仕事を目指したきっかけは、高校の有機化学の授業です。化学反応や分子のしくみに興味を持ち、それが医薬品の開発や薬の働きに関わっていると知り、化学を医療に生かせる分野で学びたいと思うようになりました。

仕事で大変なことは、小さな見落としが患者様の健康被害につながる可能性があるため、常に集中力と責任感が求められる点です。一方で、やりがいはとても大きいです。処方内容を確認する中で、薬の用法・用量や相互作用などに関する確認事項に気づき、患者様の健康被害を未然に防げたときには、自分の知識や専門性が直接役に立っていると実感できます。また、時間をかけて丁寧に調剤や説明を行った際に、患者様から「ありがとう」と声をかけていただけることも、大きなやりがいの一つです。

薬学部では試験や国家試験に向けた勉強が大変でしたが、その都度、友人と切磋琢磨しながら頑張ったことがとても印象に残っています。

これから進路を考える中で、「自分の好きなことや得意なことを、どのように人の役に立てるか」をぜひ考えてみてください。薬剤師という仕事も、その一つの選択肢として知ってもらえたら嬉しいです。

## 役所で、お薬を管理するおしごと

○出浦 和彦  
千葉県健康福祉部

昔は薬屋さん、今は薬剤師…。皆さんは薬剤師にどのようなイメージをお持ちですか。薬の専門家として医療現場で患者さんのお薬を調剤する薬剤師さんや医薬品関連企業で医薬品の開発・製造・流通などに携わる薬剤師さんをイメージされる方が多いと思います。

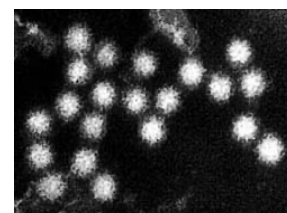
実際に、私が大学で一緒に学んだ同級生の多くは、病院、薬局、製薬メーカーなどに就職しました。

一方で、薬剤師が就く職業には様々なものがあり、その一つに行政機関で働く薬系公務員があります。薬系公務員は、主に、厚生労働省などの国の省庁等に勤務する国家公務員と、千葉県庁などの都道府県や政令指定都市・中核市等に勤務する地方公務員に分かれ、医薬品・医療機器の審査や安全管理などの薬事衛生、食品衛生、環境衛生、感染症対策など、主に公衆衛生に関する業務を、医師や保健師などの専門職、事務職の方々と連携して取り組み、住民の命と健康を守る幅広い業務を担っています。

今回の講演では、私がなぜ薬系公務員を目指したのか、薬系公務員の仕事の内容などについてお話しいたします。



街頭啓発活動



ノロウイルス

### <講演で話すこと>

- ・薬学部を目指したきっかけや思い出
- ・なぜ、この職業を目指したのか
- ・現在の仕事の大変なこと
- ・現在の仕事のやりがいなど
- ・参加者の皆様へのメッセージ など



監視員の施設調査



感染症対策本部運営訓練



千葉県マスコットキャラクター  
チーバくん

## 植物から学ぶ生き方とお仕事

○立崎 仁

株式会社常磐植物化学研究所

■ 現在の仕事の概要：常磐植物化学研究所は1949年、戦後の混乱期に原爆症に苦しむ人々を救うという使命のもと、植物化学の医薬的応用による社会公衆の福祉増進を掲げ創業されました。以来、植物成分（ファイトケミカル）を基盤に、医薬品、化粧品、機能性表示食品（サプリメント）へと事業を展開し、人々の健康を支える製品開発に取り組んでいます。「世界一の植物化学企業」を目指し、自然との共生を大切にしながら、ヒトと社会の明るい未来に貢献しています。

■ 仕事の大変なこと：私たちが扱う植物は地球上に30万種以上存在し、それぞれが固有のファイトケミカルを持っています。その中から有用な植物を見出し、その植物がつくる数千にも及ぶ化合物の中から機能性成分を特定することは非常に困難であり、多くの時間と試行錯誤を要します。しかし、その過程は未知の価値を発見する宝探しのようでもあり、大変さと同時に研究開発の醍醐味と楽しさを感じられる仕事です。

■ 現在の仕事のやりがい：植物は動くことができないにもかかわらず、周囲の環境や多様な生物と関係を築きながら、長い時間をかけて生き続けてきました。その生存戦略は、共生や持続可能性といった私たちに必要な価値観を示しています。私たちの経営理念は植物から多くを学んでおり、植物のように人間社会で生きていくことが大変面白く、やりがいです。

■ 参加者へのメッセージ：人類は誕生以来、植物と共に生き、食や医療、健康の知恵を得てきました。しかし現在、気候変動の影響により多くの生物が生存の危機に直面しています。本講演を通じて、植物の「生かされる」生き方に触れ、自然との関係性を見つめ直し、皆様が未来や社会のあり方について考えるきっかけとなると嬉しいです。